



う な ば ら 海 原

題字河原孝好先生

海城中学高等学校同窓会誌

発行
平成 30 年 12 月 4 日
第 48 号

海原会

発行人 徳光和夫
編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕

〒 169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1 海城学園

TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641

ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>



100周年にむけて 記念事業も検討開始

今年も一年、海原会の様々な活動への参加、協力をいただきありがとうございました。今年もいろいろな事業活動がありました。年の始めは恒例となった「成人を祝う会」。今年で4回目となるこの会には277名の新成人が集まりました。もととは卒業生の自主的な同期会的集まりでしたが、いまや徳光会長も顔を出す海原会の重要事業となっています。これからの海原会を背負って立つ若い同窓生にエールをおくりました。そして3月には海原会も支援する海城学園吹奏楽団の定期公演や、春夏の高校野球選手権や他のスポーツ競技への応援にも多くのOB同窓生が駆けつけています。6月の総会懇親会は海原会の一大イベント。ことしも262名が参加、カフェテリアでの懇親会ではあちこちで写真を撮ったり懐かしい友と語り合う姿が見られました。秋は9月の「海城祭」での海原会サロン。こちらも今年で9回目、海原会の歴史展示や海原会会員の有名人の紹介が好評です。そして10月の海原会ゴルフ大会。56名が参加して腕を競いました。平成卒の人たちの参加も増えています。そして11月には見学会。こちらも8回目。今年には以前好評だった隅田川のクルーズを企画、家族同伴を含めて23人が参加して一日クルーズしながらの風景と食事を堪能しました。このように発足から97年となる海原会、年々一段と盛り上がりを見せ、新しい若い会員の積極的な参加もふえて、さらに発展しています。3年後には100年を迎えます。そこへ向けて記念事業の検討も始まりました。海原会のさらなる発展のために皆さまの協力支援、積極的な参加をお待ちします。

(海原会副会長 小西洋也)

※海原会は皆様の会費で運営されております。

100周年に向けさらなる発展を

97回目となる海原会総会が6月2日(土)に海城学園の講堂を使って開かれました。今年も総勢262名の同窓生が集いました。徳光会長は海原会の活動が多方面で活発化していることを報告、3年後に迫った100周年に向けて同窓生の積極的な参加協力を呼びかけました。式典は古賀理事長、柴田校長のご祝辞の後、活動報告や予算決算報告、吹奏楽団演奏と進み、その後カフェテリアで懇親会を行いました。卒業から20年の表彰対象者が平成10年卒という時代になって徐々に平成の卒業生総会の参加が増えているのが目立ちました。



海原会は今四人の副会長の下に常任幹事が

百人以上います、この中にはこのあいだ卒業したばかりという若者から、昭和10年代にご卒業のOBの皆さんまでいらつしやうて、それぞれがよい活動をしていらつしやうと同時に海原会を円滑に運営してくださっています。また近年は海外の海城OBの集まりも活発になっております。これも副会長

「俺も海城だ!」後輩たちの支えで誇れる同窓会

学している。また海城から直接海外の大学に進学するというそういった人もいます、そういう学校に今海城はなつています。今年ニューヨークで行われました模擬国連大会というところで、本校の

山田健人君が最優秀賞を取りました。彼は、我々の時代にこんなにかちゃんと英語をしゃべれる奴はいなかった、という流暢な英語で会議を進め世界各国の若者たちの信望を得まして、国連の総長に

城はいまやそういった生徒を輩出している学校でございます。おそらく皆さんもお子さんとかお孫さんに自分の海城時代のことばきおいて、「俺も海城だ!」と誇らしげにおつしやうているかと思いが、中から上の世代の人たちは大いに我慢致しましょう。今総会にはこういう我々を支えてくれている若者たちもずいぶん参加してくれています。皆さんも懇親会で楽しんでいただけたらと思うわけでございます。さて海原会の総会も今年で97回を迎えました。100回まであ

と三年でございます。また何かしら記念イベントをと思っております。ぜひ皆さんにも参加していただければと思います。総会、そして懇親会では利害関係のない親睦交流を深めていただきまして、若かりしころの自分を再確認していただければと申し上げる次第でございます。最後に副会長を長年務めていただきました石原長夫さん(33年卒)が体調を考えてこの度退任することになりました。石原さんどうもありがとうございました。(拍手)今日は皆さんどうもありがとうございます。

平成29年度決算・平成30年度予算

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位=円

収入の部	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	備考
永年会費	2,250,000	2,342,000	2,310,000	77名
年度会費	780,000	587,000	600,000	200名
入会金	3,210,000	3,200,000	3,280,000	328名
総会参加費	840,000	863,000	860,000	290名
その他収入	200,000	175,450	200,000	グッズ販売
寄付金	100,000	434,000	100,000	
雑収入	1,000	17,220	1,000	預金利息
合計	7,381,000	7,618,670	7,351,000	
支出の部	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	備考
会議費	200,000	190,000	200,000	
総会運営費	760,000	892,500	900,000	
会報印刷発送費	4,500,000	4,508,287	4,500,000	会報1万8千部
会報編集費	130,000	83,914	100,000	
通信費	200,000	203,726	200,000	
後援活動補助	200,000	200,000	200,000	吹奏楽団後援
慶弔費	20,000	0	20,000	
振替手数料	40,000	37,068	40,000	
賃借料	250,000	256,704	50,000	
事務費	70,000	141,966	150,000	
海原会賞	40,000	30,000	20,000	受賞者2名
備品費		87,312	230,000	パソコン及び金庫購入のため
グッズ売上原価	160,000	104,986	150,000	
海城参加加費	160,000	159,016	170,000	
寄付金	200,000	210,000	210,000	
修繕費	190,000	0		
記念品費	140,000	158,220	0	卒業記念品製作予定なし
旅費交通費(グッズ販売)	7,000	20,320	5,000	
配送費(グッズ販売)	5,000	13,944	5,000	
雑費(グッズ販売)		1,240		
雑損出		5,000		
商品廃棄損	0	37,400	0	
法人税等	84,000	75,800	75,000	法人税・事業税・都民税の合計
合計	7,356,000	7,380,003	7,240,000	
前年度繰越利益金	11,064,290	11,064,290	11,302,957	
当年度損益	25,000	238,667	111,000	
次年度繰越利益金	11,089,290	11,302,957	11,413,957	

海原会発足100周年「記念事業」

の検討委員会を立ち上げ

企画アイデアおよび協力者を募集中

業委員会」を立ち上げることを決めました。今後この委員会のもとで具体的なイベントやプロジェクトの検討、

海原会 第97回 総会・懇親会



総会に秋山哲児さん(昭和25年卒)現る!

年に一度の海原会総会は、先輩後輩を交えての旧交を温め、消息を確かめ合う場所です。それはめぐり逢いの場所でもあるし、語らいの場所でもある。懇親会の会場には250人超の参加である。大勢の中に古賀理事長と談笑している秋山さんを発見した。秋山さんは、司馬遼太郎の「坂の上の雲」の主人公の実在の孫にあたる方だ。秋山哲児さんはその大祖父の秋山真之に憧れ、「あのカッコいい姿を見て、海軍に入りたくて海城に入ったら終戦になっちゃった」(笑)。当時は海軍に憧れて、海城に入り海軍士官学校に行きたかったそうだ。(山本満男)

大正10年(1921年)に海城学園の同窓会として発足した「海原会」は2021年に発足100周年を迎えます。このため海原会では現海原会事業企画委員長である国井信男海原会副会長(昭和62年卒)を中心に海原会100周年に向けた記念事業の検討を始めることになりました。正式には年末に開かれる常任幹事会で承認を得てからになります。すでに昭和58年卒の山田英也氏から同記念事業への参加協力の申し出もあり、国井副会長及び山田氏の両氏を委員長及び副委員長とする「海原会100周年記念事業運営実行計画」さらにそれに伴う予算の検討などを詰めることになりました。今回の100周年記念事業については何がふさわしいか、いちからの検討になります。ぜひ皆さまからもアイデア、要望や意見などを出してください。あわせて個人でもグループでも広く世代にかかわらず海原会会員の参加協力を期待しております。海原会のホームページの「問い合わせ」ページからでも直接電話やファックスでも結構です、積極的に連絡をお願いします。

(広報委員会)



平成30年度海原会総会開催にあたり益々のご盛會を心よりお祝い申し上げます。

また、新理科館の新設工事を再開いたします。ただし建設業界の人手不足状態は慢性化しており、厳しい環境の中での工事再開となります。工夫と努力を重ね時代を一步先んじた施設の実現を目指したいと思ひます。建設内容が明確になりましたら改めてご報告いたします。

次に後輩の活躍についてご報告いたします。学校の枠を越え積

在です。従来の教育を否定するのではなく、新しい流れを敏感に捉え、必要なものは果敢に取り込んで改革し前に進んで行きたいと考えております。将来、引き続き質の高い教育を生徒に提供してゆくには優秀な教員による教育活動は当然として、社会で活躍されている方々が学校教育に一層ご協力いただくことも重要になってまいります。卒業生は学校にとって人

誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。日頃、皆様におかれましては、先輩として本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。さて、本校は4月に332名の新中学1年生を迎え、本年度生徒数は、中学が986名、高校は984名、総勢1970名、学級数は中高合わせて48学級でスタートをしました。昨年度の卒業生

姿勢を醸成すること。勉強でも仕事でも主体的に動いて達成したことは、それが小さい目標でもやらされた課題より何倍もの達成感があります。特に思春期の生徒達にとって、この達成感から生まれる自信は将来のリーダーの資格です。

本校の課題学習(KSプロジェクト)はグローバルな視点に立つて自然科学と社会科学をつなげ、新しいリベラルな領域に挑戦して行きます。モンゴルの提携校・新モンゴル校とは、スカイプを通して、東京とウランバートルの生徒達が、国立公立医学部受験の数学講座で一緒に学び合い、将来医療人としての心構えなどもお互い意見を交わしています。

卒業生は学校にとって人材の宝庫

理事長 古賀喜博

生の一員としても誇りに思っています。とともに教職員の一員といたしましてはとも力強く感じているところでございます。会長をはじめ会員皆さまのご協力に感謝いたしております。

学園からのご報告を申し上げます。

まず。理科施設の更新計画を実施いたします。オリンピック関連工事や災害復旧工事に起因する建設費の高騰により延期しており

極的な活動が校外に飛躍して広がっております。後ほど校長から報告があると思ひますが、模擬国連での活躍、海外の学校との交流、各種全国大会での目覚ましい活躍など、今後益々発展して行くものと思われまふ。

社会の急激な変化は教育の場でも例外ではありません。否、むしろ教育の場がより厳しい変化にさらされているともいえるのが現

「主体的に学ぶ」「つながる力」を養う

校長 柴田澄雄

の大学合格実績では東京大学48名、早慶が290名、医学部合格者139名など、2年連続して、立派な成績を残すことが出来ました。

さて、私は海城に来てから本年度で4年目となりますが、日頃から教育には長期的視野を持って、生徒の成長を見守るべきだと考えています。

一つは、「自らが主体的に学ぶ」

田君が最優秀大使に選抜されました。素晴らしい快挙です。彼はウルグアイ大使としてバイオエネルギー関連の途上国に於ける持続的成長を纏め上げました。議場で彼はポスティブを有効に使って、自分から主体的に動き回り、つながる仲間を増やして行きました。

二つ目は「つながる力」を養うことです。昨年度からスタートし

私たち教職員は、生徒一人一人の価値を認め、様々な場面で達成感・充実感の味わえる出番と居場所づくりをしたいと考えています。海原会の皆様のお知恵をお借りして教育の推進に力を注いで参る所存です。どうぞ一層のご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。本日はお招きいただき、誠にありがとうございました。

どうもありがとうございました。



海原会の皆様、平成30年度海原会定期総会の開催

第7回海原会ゴルフ大会

**埼玉県のコースで初開催
優勝は樋口稔洋氏(昭和54年卒)
56名が参加**



第7回海原会ゴルフ大会は、10月12日、早朝より小雨降る中、初めて開催地を埼玉県に移し、飯能くすの樹カントリー倶楽部で開催されました。大会出場常連の海原会会長徳光和夫先輩を始め、海外在住の同窓の方も何名か参加いただき、悪天候にもかかわらず総勢56名参加の大会となりました。優勝はクロス78、ネット70・8で昭和54年卒樋口稔洋氏、グロスでスコアが80未満をたたき出した強者が4名と、今年もそれなりの水準でした。そんな中実行委員長である私は、ブービーメーカーを常時ウロウロしている程度の実力です。この大会に自信がない方も安心してご参加戴ければと思います。この海原会ゴルフ会の大きな特長として、景品が豊富で豪華な事が挙げられます。運営側で用意する景品もさることながら、第1回大会からご提供頂いている立石博巳(昭和26年卒)先輩をはじめ、多数の同窓の方々から数多くの景品を毎年提供して頂いている事が、大きな要因となっております。この場をお借りしてご提供頂いている諸先輩、後輩の方々、誠に有難うございます。心より感謝申し上げます。今回も多くのご意見をアンケート方式で頂戴致しました。今大会の印象、次回開催地希望、キャディーの有無、等々これからの皆様に喜んで戴ける大会運営を目指して企画してまいります。来年の大会実施概要は次の会報でご通知致します。2012年に始まったこの大会、楽しみにしている方々も数多くいらつしやと思います。大会継続の灯を消さない為にも、横の繋がりがばかりではなく、縦の繋がりがも広げていきましょう。来年も年齢を問わず数多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

大会実行委員長 昭和47年卒 石黒淳一郎



順位	氏名	(卒年)	OUT	IN	GROSS	HDPC	NET
優勝	樋口 稔洋	(S54)	38	40	78	7.2	70.8
2位	萩野 正雄	(S48)	39	47	86	14.4	71.6
3位	荒尾 純平	(S57)	37	42	79	7.2	71.8

第七回海原会GOLF会コンペ出席者

昭19 小倉 康弘	昭36 藤咲 浩男	昭41 羽根井 泰郎	昭49 金子 弘行	昭57 達谷 憲一
昭32 鈴木 健義	昭36 山田 雅康	昭42 早川 好治	昭50 西谷 義典	昭57 坂本 孝
昭33 吉岡 幸夫	昭37 梶 宏光	昭43 永江 学	昭50 谷沢 秀隆	昭57 橋本 寛
昭33 池内 幸夫	昭37 菅野 文夫	昭44 鈴木 政広	昭50 吉年 正明	昭57 伊藤 信基
昭34 小山 隆紹	昭37 山田 和弘	昭46 藤 聡	昭52 鷹野 一雄	昭62 国井 基
昭34 徳光 和夫	昭37 鷲田 和雄	昭46 石黒 淳一郎	昭54 樋口 稔洋	昭62 古市 井上
昭35 鴨下 孝信	昭39 鶴殿 幸夫	昭47 里村 豊	昭55 向後 尊信	昭03 井上 小市
昭35 渡辺 浩志	昭39 丹羽 秀夫	昭48 甲斐 彰義	昭56 東海林 昭彦	
昭36 浅倉 行政	昭39 吉岡 博	昭48 角 達也	昭56 益田 浩一郎	
昭36 伊藤 邦正	昭41 小西 洋也	昭48 萩野 正雄	昭56 山口 昭彦	
昭36 岡本 隆雄	昭41 小吹 優	昭48 吉田 雅明	昭57 新井 雅幸	
昭36 林 昭策	昭41 篠 由紀男	昭49 石川 秀樹	昭57 荒尾 純平	

見学会

**隅田川クルーズを満喫
船長さんのガイドで満悦**

海原会見学会は今年で8回目を迎えました。その内隅田川見学会はご好評に答えて今回で3回目になります。

天気は上々、ご夫婦など揃つてのご参加有難うございました。11月10日船宿の「三浦屋」の観光船で、総勢23名の参加を頂き、浅草橋から約2時間の旅をしました。

《船に乗る》いつものことからワクワクしますねえ。あまり経験上、少ないからだろうと感じます。そして、目の前のながしに好奇心を誘われる気持ちになります。

今回は、船長さんまで、船長のガイドを楽しみながらの遊覧。水上からの大東京はまた格別です。ビックリしました。正直、水上からの視線は掘りどころがなく、どこを走っているのか戸惑いを感じましたが、いよいよ東京湾の玄関、お台場が見えてきました。船はその周囲を回り、途中用意された弁当を食しながら、新豊洲市場、クレインが唸るオリンピック施設など見るところいっぱいを楽しみながら、帰途に就きました。お疲れ様でした。

見学会、来年も計画します。どなたでも参加できますので一緒に行きましょう！
(見学会世話人 昭和27年卒 山本満男)



猛暑の中、8月下旬からサロニ委員による準備を開始。自由に構想を広げながら9月に入

回のホームカミングデーとして海原会員の多くに定着するようにこれからも会の活動を盛り上

期待してるぞ！野球部！



ることもあったが、「佐々木は海城一の俊足だからこれで良い」と事

海原会サロン

OBの「ホームカミングデー」として定着 学園の歴史やOB紹介コーナーが人気

り全体企画会議を毎週開催。この一年を通じて新たに調べた「歴史を作った海城人」候補の選定では『おい、もつと若い人、今活躍している人たち もつといないの……』。今年のサロンの核となるテーマや、展示の方法などに関しても各委員が、去年の反省を踏まえてさあ……『伝統や校風をもつと前面に……』。来場者にわかりやすくするには……など喧々諤々。前日の飾り付け等の準備は用紙が足りない等々、バタバタしながらも和気藹々と楽しく作業を行いました。

海原会サロンも今年で9回目。OB交流の場としてさらに同窓会活動を広く知っていただくことを目的としてスタートしました。

だが、今や学園の歴史やOBなどを紹介する人気のコーナーとして定着してきた感があります。文化祭実行委員会の絶大な協力のおかげで、学園祭ツアーコースに組み込んでいただいたこともあり多くの方々に海原

皆様の絶大な協力により今年も無事サロンを終了することが出来ました。心からお礼を申し上げます。
(サロン支配人 昭和41年卒 森山昭洋)

会の活動を知っていただくことが出来ました。海城中学校への入学を目指す子供たちとその親御さん方も改めて本学園の歴史や多士済々のOBに興味を深めていました。また、今年も多くのOBにご来場をいただきました。自分の卒業年のアルバムをご家族に見せながら在校時の思い出を楽しそうに語る姿などほほえましい光景が随所で見られました。特に今年は、大学在学中や社会人になりたての若くフレッシュなOBの来場が多かったことが印象的です。学園祭と海原会総会が学校を訪ねるというか帰ってくる「年2



今夏の東京大会、海城野球部は2勝を挙げ、対帝京戦で惜敗し、夏が終わった。しかしながら、2勝の内容は実に応援しがいのあるもので、神宮の客席には多くのOBが詰めかけた。

活躍した選手の中には2年生が含まれ、本番を経験した彼らが来年度の新チームでさらに活躍することが期待される。

事情通のOBから特に名が挙がった2年生は2名。1番2塁佐々木章太郎さんと7番捕手の青木暢也くん。

佐々木くんは塁に出ると盗塁やさらなる進塁を試みて対戦相手をかき回す。相手の好守備に阻まれ



情通OB。キーマンとして期待される。

青木くんは本郷高校戦で満塁弾で試合を決めたスラッガー。畑違いであるが、青木くんは今夏には俳句甲子園に出場しベスト4に進出した。この勢いで兵庫の甲子園でも活躍してほしい。

新チームで臨んだ秋季大会では第11ブロックBを全勝1位で通過。本大会までコマを進めた。

来年の海城野球部はいつもより多めに校歌を歌わせてくれるかもしれない。試合の予定は海原会HPに随時掲載します。皆さんスタンドで会いましょう！

(昭和62年卒 国井信男)

計報

謹んでご冥福を お祈り申し上げます。

昭和14	山中 良明	H 29・6	昭和25	村松 基臣	H 15・11・16	昭和34	若月 正人	H 27・6・5
昭和15	平川 淳二	H 30・10	昭和26	徳田 和言	H 28・10・27	昭和35	岡田 正	
昭和15	吉田 義信	H 29・08・24	昭和26	村田 貞康	H 29・4	昭和35	平井 武志	H 27・9・22
昭和16	江畑 浩二	H 28・5	昭和27	内記 勉		昭和35	広原 正昭	H 24・06・19
昭和18	宇垣 正俊	H 29・10・13	昭和27	安山 徳	H 30・4・16	昭和36	相原 義範	H 27・06・26
昭和18	河合 卓爾	H 30・06・03	昭和29	近藤 忠雄	H 29・12・4	昭和37	青木 博雄	H 29・9・16
昭和19	寺垣 祐三	H 22・2	昭和30	峯村純一郎	H 28・7	昭和37	鹿島 廣	H 29・11
昭和19	福田 政司	H 30・8・3	昭和31	大谷 嗣麿		昭和41	秋山 孝志	H 30
昭和20	新井 昭三	H 30・1・2	昭和31	竹内 豊	H 30・2・28	昭和41	若菜 成明	H 30・8
昭和20	北古賀末男		昭和31	宮下 明久		昭和42	鈴木 行人	H 28・8・1
昭和20	久保田辰哉		昭和31	矢島 英俊	H 28・1	昭和42	関谷 道人	H 28・11
昭和20	林 繁一	H 29・10・1	昭和33	小林 浩	H 30・4・28	昭和42	四津三樹男	H 29
昭和23	鎌田 和夫	H 29・7	昭和34	宇野 耕平	H 30・04・16	昭和47	田村 克寛	
昭和23	並木萬次郎	H 21・12	昭和34	海老澤 稔	H 29	昭和48	池田 卓也	H 28
昭和25	小佐野 康		昭和34	黒木 宏	H 29・03・27	昭和51	小平 隆	H 27
昭和25	勝村 陽一	H 29・10・13	昭和34	篠崎 允彦	H 29・11・18	昭和51	堀 雅樹	H 30・02・08
昭和25	宮川 明	H 30・2・4	昭和34	高橋 一雄	H 29・12・13	昭和55	高橋 信哉	H 30・04・29

海城と海原会の沿革

年一度の「海原会総会」は、めぐり逢いの場所です。それは学齢を超えて集まり、旧交を温め、消息を確かめ合う第二の故郷です。海城を出た者にとっては「海原会あつての海城」とも言える。そこで海原会の歴史を紐解いてみよう。

前身は「馬小屋会」?

八重洲校時代「古賀喜二郎伝」によれば、今の東京駅付近の八重洲は東京の中核ですが、当時は草茫々の原野にボツンと立っていた。あまり立派とは言えない古びた木造建築で、口の悪い世間の人からは「馬小屋学校」と言われた。しかし、それを懐かしむ卒業生が、そのまま採つて同窓会に「馬小屋会」と命名している。と記している。これが事実だとすると、「海原会」の発祥ルーツは「馬小屋会」と言うことになる。

「海原」第一号

明治33年霞ヶ関校に移り「海城学校」になり、機運高まる35年には学友会が発足して、学友会誌「海原」第一号が発刊された。この時初めて「海原」という名称を使用。

明治39年には、かねて併置された日比谷中学校を閉鎖「海城中学校」として発足。この時代の1年前に、伸るか反るかの日海海戦が始まった。ようやく学校の存在も安寧したかに見えたが、内外の不安で学友会誌「海原」は8号で廃刊したが、後明治41年に続巻として継続している。

海原会発足

学校はその後順調で、生徒数も大正12年まで860名になっている。此れより前、大正10年5月「海原会」(同窓会)が発足、会長に吉見乾海校長を推戴。翌年「海原会会報」第一号刊行。が、その翌年関東大震災にあつたりで、昭和2年霞ヶ関校より現在の大久保に新設移転した。明治大正昭和とその間は軍事に翻弄され、海原会は中断している。

海城新聞

特筆すべきは終戦が終わった途端に自由な表現が沸騰した。昭和21年「海城新聞」第一号発刊した。発行者は「海城学園新聞部」で生徒達と教師だ。中身は一般紙と同じ教育、政治、経済、文化、芸能などが書かれている。おまけに広告欄が掲載されている。海城新聞はその後の後輩が引き継いでいる。

尚、海城新聞は「全国高校新聞コンクール」で朝日、毎日、読売などから優秀賞を貰っている。

復刊・休刊・また復刊

とにかく戦後の後始末に余念がなかった。昭和29年会報「海原」は復刊したが6号で休刊した。ご時世から後継者不在となつたのだらう。そして昭和43年「海原会会報」(復刊)1号を刊行。平成5年には同窓会会報を、伝統の名称を復活して会報「海原」とし第一号を発刊した。おもえば幾多の遍歴を乗り越えて来た。

尚、歴代の海原会長を列記する。

- 初代 吉見 乾海
- 二代 伴 達也
- 三代 升本喜兵衛
- 四代 中村 佐一
- 五代 大林 良一
- 六代 齊藤 昌司
- 七代 前田又兵衛
- 八代 田村 康成
- 九代 植木 昭夫
- 十代 徳光 和夫

(山本満男 記)

参考資料

- 『海原会会員名簿』
- 『海城学園年表』
- 『海城新聞』
- 『海城学園の今昔』



学友会誌「海原」1号



第1回海原会総会(大正12年)

なに?この写真

昭和27年卒 山本満男

いいなあ。都会では見られなくなったが、どこかのお金持ちのお屋敷の門だろう。松が生えて、奥のほうに入ると周りは樹木に囲まれて盆栽風の植樹と池があつて、田中角栄邸を思い出しちゃうなあ。

しかし待てよ。この門をよく見ると、見たことがある。そうだ。海城の武家屋敷門じゃないか!

昭和2年だっけ、今の海城に引越してきたとき、捨てられて?孤児になり、あの財界の藤山愛一郎が譲り受け、白金にある邸宅に引き取られたんです。この写真がこれです。

敗戦後、この門は進駐軍に接収され、アメリカ艦隊宿舎なり、イタリヤ大使館になったり、紆余曲折しながら、赤坂の山脇学園に落ちついた、ということです。

しかし、進駐軍もわかつているんですね。何ひとつ壊さないうで保存してくれて、嬉しいじゃないですか。

だからこそ、国の宝として今や「重要文化財」として、存在してるんだ。冗談めいていうが、海城が引越しの時、門も一緒に連れて行けば、今ごろ大変なもので新宿区として、海城としても名物になるに違いないなあ。(笑)

話を戻す
しかし、この武家屋敷門、周りの樹木に寄り添われ、風趣があり、いいと思いませんか?写真を拡大して詳細を見ようとしたんですが、拡大すると網点が荒く見られます。残念でした。



グラウンドに眠る歴史考Ⅲ

当シリーズでは現在のグラウンド部分の東半分は昭和10年代、善隣高等商業学校（のち善隣外事専門学校）という大陸で働く人材を養成する学校および内モンゴルと満州からの留学生用の予科があつたことを紹介した。調査の中で海城が当校へ進学した卒業生以外に直接何か関わりがなかったが資料を探したところ善隣高等商業の設立者林銃十郎（はやしせんじゅうろう）、元陸軍大臣、第33代内閣総理大臣の名が書かれた公式文書があつた。

総理大臣兼任文部大臣

林銃十郎の名前が記載されていたのは昭和12年に、海城中学校吉見乾海校長の名で文部大臣に宛てた申請書であつた。当時旧制中学はその役目として生徒が卒業後に就職をめざすコース（第一種課程）を設けなければならならず、進学をめざすコースは第二種課程と区別されていた。国としては短い年数で内容の濃い学校教育をもつて産業を支える人材を養成することを第一義とし、それでも勉強が足りないと感じる者は進学してさらなる研鑽に励めばよいという方針であつたようだ。



昭和十一年四月六日
財団法人海城中学校 理事長吉見乾海
文部大臣林銃十郎殿
蒙申
昭和十一年度、於て中學校令施行規則第二章第二條依り第一種及第二種課程ヲ編成シ之を勵行仕候事本年度（昭和十二年四月）ニ於テ昭和十一年度同様第二種課程ノ希望者全ク無ク之ヲ編成付難ク候間前年度同様特別ノ御詮議ヲ以テ第二種課程ヲ設置セザルコト御認可相成度此段蒙申仕候成

う方針であつたようだ。

このため中等学校が在校生の大半が進学希望であるために第二課程のみの授業編成とする場合、毎年文部大臣宛てに必須である第一課程を設けないことの許可を得なければならなかった。正当なる事由を示さねばならないため、卒業生の進路状況を数値で提出していたのが次の書類である。

偶然にもこの年の文部大臣が海城と壁ひとつ隔てた学校の設立者であつた。総理大臣が文部大臣を兼任するのが不思議に聞こえるが、林銃十郎は日露戦争で旅順攻撃に参加、大正10年陸軍士官学校予科長、昭和

柳屋製原稿用紙（上）

平成5年卒 高橋有仁

就職希望は0となつていて。就職コースの第一課程免除を願ひ出る書類にて実際は希望者がいたがえて区分「未定」を設けそこに含めたかどうかはわからない。

昭和10年は壁ひとつ隔てた隣接地に善隣高等商業が開学した年である。海城から初めて当校進学した一名が昭和13年入学であるから、第二表の上級学校入學志願者における第四学年欄に当該生徒がいたことになる。ところで志望状況の表が四年生と五年生の両方記載されているが、これは旧制中学では四年時で上級学校を受験でき繰り上げて卒業できた制度による。したがって第二表のとおり第五学年は一四年と比べ数十名少ない。

陸軍士官学校および海軍諸学校を志望する生徒がいても前年の合格者数は0であるなど難関であることから、外国語を学べ

域へ送る人材を養成する善隣高等商業を開学した頃であつた。

この申請書は文部省普通學務局への型通りの提出物なので実際に大臣である林が目にすることはないが、意外なところで海城が善隣高等商業となつていた。

第一表

最近三カ年ニ於ケル卒業生・卒業後ノ状況 調（紙面の都合上昭和十年のみ掲載）	
区分	昭和十年三月 卒業生
実業従事者	十一
学校職員	
官吏公吏等	八
大学豫科	官立 二三 私立 六
高等学校	官立 六 私立 一二
大学附属専門部	官立 二四 私立
専門学校	官立 七 私立 一三
実業専門学校	官立 七 私立 一〇
高等師範学校	
陸海軍諸学校	
陸軍幹部候補生	
兵役	
不詳	一四
計	一三七
卒業生数	一三七

第二表（昭和12年）

現在学年別生徒数学校数調					
項目	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年	第五学年
学年別	四	四	四	三	一八
学級数	四	四	四	三	一八
現在生徒数	一九五	一八一	一八〇	一六二	八四〇

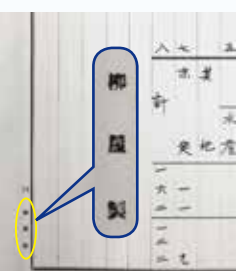
少人数であるが卒業後善隣協会の現地支部に就職の口が用意されている善隣高商もチョイスに上つたのではない。

紙が柳屋製

この申請書には

もう一つ今日の海城につながる点があつた。書類に使われた用紙の左隅を見ると柳屋製と印字されていた。柳屋こそ大久保通りについて先年まで営業していた文具のヤナギヤであり、本校の通称おばばやばやナギヤの支店であつた。当時の日用の書類から公式文書まで柳屋は海城を支えていたのだ。

かつて大久保から飯田橋にかけての牛込地区は現在でも出版関連の事業所が集まっているように当時は用紙そのものも印刷製造もされていた。本稿の公式文書に用いる紙はB4の紙を真ん中で山折りにして両端に穴をあけて綴じようになっている。和綴りに適した、縦野20行に屋号が左端に付いた原稿用紙のデザインが固



まつたのは明治中ごろのこと、尾崎紅葉が神楽坂にある印刷店にマス目の入った紙を作つてほしいと依頼したのが始まりという。柳屋も原稿用紙を印刷製造しており、海城が戸山が原に移転してきた時から今日までおよそ90年間海城とともに昭和、平成とともにいたのであつた。



昭和46年おばばさん

参考文献：海城百年史1991、長妻直哉 偶然が生んだ原稿用紙 日本経済新聞2017年8月31日付文化欄

われ城人 海

異色の歯科医

馬場 剛さん

ばつよし (昭和55年卒)

新しい試みに挑み続ける 孤高の陶芸家

植松 隆さん

うえまつ たかし (昭和41年卒)

統一芸に挑む

いわゆる伝統工芸としての陶芸は一に土、二に焼き、三が細工と言われる世界だといふ。志野、織部、備前といった焼き物はそれぞれの土、織部ならば織部の土がなければいいものではないのだそう。そのためいわば外から新たにそのような陶芸の作家を目指す人はその産地に入って修業を積むのが一つの道であるという。



しかし陶芸世界と
なんの縁もゆかりもな
かった植松さんは陶芸
の手ほどきを受けた先
生はいたものの後は手
探り、「何の知識もな
く二人、実家に近い狭
山に工房を開いてコッ
ツと自分の作品を作り
続けその伝統工芸の世
界に挑んできた。「何年
かしたら日本伝統工芸
展など陶芸の権威ある公募展で入選する
ようになって自分のやっていることが間違っ
てないと自信を持てるようになりました」。

馬場さんのことを、尊敬の念をもって「変人」と呼ばしてもらう。
変人とは変った人間の魅力の事だからです。その風貌は医師とは思えない茶髪で、首にシヨールを巻いてサイケ調のスタイルで現れる。そして海原会のイベント行事には必ず参加してくれる人だ。

加賀屋敷

馬場歯科医院の場所は、明治の西欧文明

画家志望から陶芸へ

芸家だ。年齢70を過ぎたが「まだまだ試みたいことがたくさんある。思い通りにできた時の感激はこの上なく嬉しい」となお作品づくりに挑み続けるとの意欲をみせる。

中学高校と美術部に所属していた植松さんは先輩たちの影響もあって将来絵描きになることを思い描いていた。そして芸大を受験。浪人して再度挑戦したが及ばず、私立の美術学校には受かったものの、「芸大がダメなら絵は諦めてサラリーマンに・・・」と明治大学の政経学部に進学する。

そんな植松さんが陶芸家になったのは「大学3年の時に海外を放浪していて、たまたまフランスで絵画研究所をのぞいた時の体験が大きく影響している」という。そこで観たのは「なんて自由に楽しく絵を描いているのだろう」ということ。「それまでの自分は、絵はこう描かなければだめだ、知識とか理論とか余りにも頭づかちになっていることに気がついたのです」。いわば旅の中でそれまでの苦しい絵の世界の呪縛から解放され制作することの楽しさを知ったというのです。

そしてその感覚が初めて土をいじっている時に蘇ってきた。「何も知らない世界でしたし、頭じゃなくて手の感触とかで上がって

満足いく作品求めて

行く過程が楽しくて、素直にその世界に入っていたけれど」という自分を発見し、大学卒業後勤めていた会社を半年で辞めて陶芸の世界に飛び込んだという訳です。

ある陶芸家のもとで土のこね方からロクロの挽き方、焼き方などの基本的な手ほどきを受けて、あとは一人、大学に通って学び、ろくろ制作の技術を磨き、釉薬作りや焼成の実験を繰り返して今日まで制作を続けてきた。その間の40年以上に亘る実験や試みを記録した何冊もの大学ノートは宝物だ。話をうかがっているとき陶芸は芸術性という側面だけでなく材料の粘土や釉薬、焼成の温度や時間、絵付けや模様に至るまであらゆる知識と経験のうえに形を作る技術がなければでき上がらないものだということがよく分かる。しかも焼成に入ったら18時間は炉から離れられない。体力もいるのだ。

陶芸をはじめてから9年目、初めて作品が伝統工芸展に入選、さらに埼玉県展で知事賞を受賞する。陶芸家として認められ、以来日本伝統工芸展、日本陶芸展、益子陶芸展、中日国際陶芸展といった陶芸世界の権威ある主要公募展にほぼ毎年入選を果たしてきた。「公募展に出すことで自分の



(小西洋也 記)

二つの顔

海城の思い出を聴いたら「バンドを結成して文化祭で、ライブで騒いだこと」だと言う。なんだ趣味を生かして現在に至るといふことか。

学校行事で年に数回、



歯医者さんをやつて、バンドでエレキをかき鳴らし、ボクシングジムに通っている。アルバムを見せてもらったら、そりゃあ半端じゃない。なぜボクシングをするのと聞くと「僕はスポーツ系じゃないんです。健康の為もあるけど、瞬発力、忍耐力、集中力を養うためにしてるんです。」この貫徹力というか精神力というかは見事だ。本人は至極当たり前のことをしているようだ。



受容期に配電盤の拠点と言うべき本郷界隈にある。明治初年に加賀屋敷（東土）を中心、一時は御雇外国人がいる町となったという。貧乏国が学府を置いたのは立派だと思ふ。

最寄りの駅に早く降りたのでふらついた。迷ってしまった。本郷通りに立つて周りを見た。歩道の人は少ない。おばあさんに聞いて宛先を聴いたら、黙ってついて来なさいと言われ、馬場医院の前まで連れてってくれた。なるほど、馬場医院はこの地域では古くから名の通った医者だなあと感づいた。

二つの看板

人が「馬場」さんの所在を判ってくれるので、看板はそのままにしてあるそう。そして馬場さんは現在家族のいる大田区に住み、実家に通勤していることになる。

学校医

馬場さんは歯科医として地域の小学校の学校医を務めている。

近年子供たちの虫歯は少なくなってきたが、その代わり食事が軟らかいものが多く、咬む必要がなく歯並びも悪く、歯肉炎が多くなってきたという。咬むということは唾液が出ておいしく食べられて歯が丈夫になっていくのだが、歯の健康には咬むことがいい。

もう一つの顔



馬場さんと思う時、ニューヨークの20世紀の巨匠ジャクソン・ポロックを思い出した。筆にたっぷり絵の具をつけて壁面に散らばして叩きつける、言わば「カタチのない形」を表現する芸術家だ。馬場さんもあのエネルギーギンな仕事は想像するに難くない。事もあろうに明治の西欧文明の発祥地、本郷界隈に巣窟を持つているのが愉快でたまらない。話すとなししい変人なのだが。

（山本満男 記）

タイで起業 夢に懸けるラグーマン

武者良祐さん

むしゃりようすけ（昭和60年卒）



バンコクには多くの海城OBがいて、ASEAN各国の海城OBの拠点として交流を深めている。その輪の中心にいるのが武者良祐さん（昭和60卒）だ。

海城中学のときはサッカー部主将を2期、生徒会長も務めた。海城高校のときはラグビー部のスタンドオフとして活躍した。都大会ではベスト16に進出し、強豪の保善を相手に、負けはしたもののトライを決めて一矢を報いた。

保善相手にトライ

「私は文A（注）クラスで運動部という、今の本校生徒には想像も出ないような環境だったと思えます。そんな中、保善と戦った翌朝のホームルームで担任の半澤先生が『みんな受験のことで頭がいっぱいだろが、本当に大事なことは今しかできないことをやることだ、ラグ

ビー部の連中を誇りに思う』みたいなこと

小児歯科医として子供たちと教壇に立つという。

馬場さんの身振りでミュージシャンとバレて「センセイ！歯医者さんより合ってる」と言われてギヤフン。又、海城のコミュニケーション授業で「人間には二つの顔を持つている」ことを身振り宜しく話したら生徒から同じ事を言われたらしい（笑）終了後、先生に聞いたら生徒から好評で大変面白かったと言う。

をおつやつつてくれたことが、落ちこぼれ生徒として非常に有り難く思いました」と武者さん。卒業後は早大を経て三井物産へ。海城時代に鍛えたガッツで、三井物産では国内のエレクトロニクス商売に従事したのち社内公募制度に応募してタイに語学留学。その後、当時からタイで大きな商売をしていた本社の通信プロジェクト部隊に戻り、そこから同商売でタイに駐在、現地の財閥との合併会社を何社か立ち上げた。帰国後は室長として米国・中国向け新エネルギー系の事業投資を手掛けた。

独立を決断

大手企業のビジネスマンとして活躍し、充実した日々を送っていたある日、武者さんは独立を決断する。

「三井物産みたいな大手企業で大きな仕事をするには向いてるけど、意思決定に時間がかかる。稟議、根回し、それこそ付度とか。リスク&アカウントに自ら責任を持つ実業を手掛け、自分の判断でビジネスをしたかった。究極の自己実現を目指したんです」

現在、武者さんのSmart Revolution Co.,

アンフォルメル

馬場さんと思う時、ニューヨークの20世紀の巨匠ジャクソン・ポロックを思い出した。筆にたっぷり絵の具をつけて壁面に散らばして叩きつける、言わば「カタチのない形」を表現する芸術家だ。馬場さんもあのエネルギーギンな仕事は想像するに難くない。事もあろうに明治の西欧文明の発祥地、本郷界隈に巣窟を持つているのが愉快でたまらない。話すとなししい変人なのだが。

れた。その際、東南アジア各国の海城OBを束ねるASEAN海原会の会長に武者さんが就任されることが決議された。

「海原会の集まりはいつも楽しく、ほっとできる時間です。あまり難しいことは考えず、この雰囲気を持していってムードメーカーでありたいと思います。私も海原会の集まりには先輩にお誘いいただき比較的最近参加させていただくようになりました。はじめての方々にも『ちょっと顔出してみるか』、くらの気軽な気持ちで御参加くださ

い。諸先輩の御協力を賜りながら、同じくタイ移住組で永くバンコク海原会の音頭取りをされてきた幹事の宮本裕一郎さん（H07卒）と共に会を盛り上げて行きたいと思います」と武者さん。

海城のグラウンドでもバンコクでも夢にまっしぐら。武者さんの人生は一本道で繋がっている。

（国井信男 記）

東南アジア海原会の会長に

11月2日にバンコクで東南アジア各国の海城OBが集まり、ASEAN総会が開催さ

※注 当時の海城は文A（私立文系）・文B（国立文系）・理科の3コースに分かれていた。文Aの生徒は受験に不要な理系科目の履修が抑えられていて勉強の負担が比較的少なかった。現在の海城は国立公立を目指す生徒が多く、文Aは廃止された。



現在私はアフリカ南部のザンビア共和国にて、日本の建設会社のザンビア事務担当として、首都ルサカ市内に3棟の病院を建設する日本のODAプロジェクトに携わっています。

物事を一から立ち上げるというのは本当に大変で、事務所立ち上げから、各スタッフの採用、業者との契約、予算の管理など業務は多岐に渡り、日々悪戦苦闘しています。

また、発展途上国でのビジネスは非常に難しいです。基本的な値段設定がめ

ちゃくちゃで、相手が日本人と知るとや平気で金額を誤魔化してきます。同じ店でも昨日見て安かった机が、次の日には倍の値段になったりします。例えば見積を取って品番と値段を抑えても、翌日には品番のシール自体が貼り替えられて、シールを貼り間違えた、本当の値段はこっちだと言ってくる始末。そんな大変なことが多い発展途上国でのビジネスですが、苦

ザンビアで病院建設

平成17年卒

甲斐健之介

また、夜には視界いっぱい星雲が広がるのですが、南半球でしか観測できない南十字星

の美しい輝きは、一生忘れることができないでしょう。アフリカでの生活は確かに大変な面が多いですが、平均寿命の短い国で無償援助の病院を建てる、という今回のプロジェクトは何にも変えがたいやり甲斐を感じています。一人の日本男児として、現地のザンビア人に感謝されるような病院を建てプロジェクトを完遂したいと思っています。

無言館を応援しよう

昭和38年卒 杉山絃千佳



戦没画学生の作品を保存・展示している美術館「無言館」の館長を務める本校昭和35年卒の窪島誠一郎氏から無言館の運営維持が一段と厳しさを増しているというSOSの手紙と無言館の維持のために広く皆さんから財政的な支援をとめるための設立した「無言館をささえよう」基金へののご協力お願いします。

《自分が属している時代の風俗は、響くようによく分かるのに、自分が育つて来た時代については無知なものです。》と言ったのは司馬遼太郎です。そうなんです。私自身戦争戦災のことは、親が体験していて、それを知るのには文献資料しかないのです。歴史には感情があります。そのことを考えなければ、その頃のことがかかりにくいのです。

二七想友会よりのメッセージ

戦争戦災の生き証人

明治維新の大変革により立憲政治体制ができあがりました。

ところが日本は日清日露の《この戦勝が狂気にした》ことが、軍部が勢いをつけ、報道機関も同調した。国民もその気になって、日本国が誤った方向に舵を切って行ったのは昭和の初期である。と司馬遼太郎はいつています。

結果は中国侵略太平洋戦争開戦・終戦・原爆投

下・戦死、軍人200万人、民間人45万人が犠牲になり平和が戻りました。今の平和はこのような尊い代償の上に立っていることを忘れてはいけません。我々二七想友会は、この戦争の生き証人（体験者）であり、ほかに数多くの犠牲を払った今の平和があると思います。

昭和27年卒 山本満男

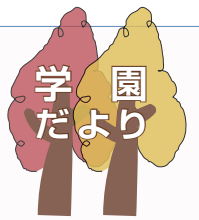
体験談戦災の惨事の語り部として、息子や孫や友人に語り伝えたいと思います。最後に戦災の悲惨を伝えることは、体験者の残り少ない人生最後の責務です。

間もなく主役の「昭和」が終わろうとしています。平和な時代、遅きに失した感もありますが、



参考資料：この国のかたち(文藝春秋社)
写真：昭和史13(毎日新聞社)
写真説明：住むに家亡き焼け跡生活
あなたは経験しましたか？

「無言館をささえよう」基金へののご協力お願いします。
105千円 (何口でも結構です)
「振込先」 ゆうちょう銀行 00520-9136114
「口座名」 一般財団法人 戦没画学生慰霊美術館 無言館
なお「無言館をささえよう基金」にご協力いただいた方には、口数にかかわらず「無言館」1年間優待券を進呈申し上げます。
代表理事 窪島誠一郎



あまり聞きません。
では、なぜ学校説明会が「海城祭」なのでしょう。8月におこなう学校説明会では、講堂で行ういわゆる通常の学校説明会にとどまらず、2号館の教室を利用してテーマ別のプレゼンテーションを実施しています。

もうひとつの「海城祭」

いま海城祭は2日間でおおよそ2万人の方が来校する都内でも屈指の文化祭ですが、それより3週間前にもうひとつの「海城祭」があるのをご存知でしょうか。

法人事務局入試広報室（平成3年卒） 塩田 眞二郎

それは「学校説明会」です。今年は8月25日（土）・8月26日（日）の2日間開催し、海城を志望する小学生と保護者あわせて4370名の方が参加され、全教職員とお手伝いの海城生約50名がお迎えしました。これほど大規模な学校説明会を開いている学校は他に

各教科の特色を紹介する教室では先生たちが熱心に展示・説明をしています。また、体験学習（P・A・D・E）やKSプロジェクトといった海城ならではの取り組みについて紹介する教室もあり人気です。さらにはグラウンドや体育館、柔剣道場では部活動の公開練習もおこ

なわれており入学を希望する小学生が熱心に見学していきます。
ただ学校説明会で一方的に話を聞くのではなく、校内を自由に動き、さまざまな教室を回りながら先生や生徒たちとコミュニケーションがとれる双方向の学校説明会というのは大変珍しいと思います。まさに海城祭と同じようにリアルな海城を体感できる2日間なので、もうひとつの「海城祭」というわけです。

参加された方へのアンケートを読むと、「生徒と先生が一体となっている学校説明会に感動しました」「生徒さんの対応が素晴らしいかったです」といったものが目立ちました。いま、私は入試広報の仕事もお手伝いさせていただいていますので、こうした声は大変嬉しく励みになります。もともと母校の魅力、後輩たちの活躍を広く伝えていきたいと思っています。

建設費の高騰などから延期されていた新理科館の建設計画が動き始めました。新理科館は正門の左側の3号館を取り壊して建設する計画で、来年4月から3号館の取り壊しが始まり、10月から建設開始、2021年4月の利用開始を目指します。新理科館建設のプロジェクトリーダーである内田

新理科館 建設計画始動

施設自体が教材

理科館の建設は現在の理科教室のある5号館（カフェテリアに向かって左側）が老朽化しさらに生徒数の増加に伴って教室、実験室が不足していることから数年前から検討されていたもので、当初学園の創立50周年（2016年）事業の一環として計画されていました。しかし

を広く設けているところです。これまでの仕切られた教室という概念ではなく研究室や先進オフィスのように余裕のあるスペースを設けることで自由な発想で様々な形で生徒が交流し交換したり、自発的な学習などに取り組むことができるようにと考えられています。

や実験室を作ることではなく、新しい発見や自発的学習に結びつくような場となるようなものにしたいと考えています」とその設計思想を語っています。完成すればまた新しい学園の顔になることが期待されます。

2021年度利用開始

東日本大震災の復興事業や東京オリンピックに伴う人材資材の不足、高騰に直面し計画を中断していたものです。基本計画では地上3階建てで、一階に物理、地学関係の教室及び実験室、二階に生物関係、三階に化学関係及びライブラリーなどを配置する予定ですが、特徴的なのは各階中央部にはフリースペース

また建物そのものも太陽光発電や屋上緑化、各種のリサイクルシステムなどを取り入れていけば施設そのものが教材となる実験棟となるようなことも考えられています。教室と言えば黒板があつて先生が生徒に向き合つて教えるという姿はもはや過去のものとなっているようです。

（広報委員会）



昭和27年卒 山本満男
作である。この作品は世田谷美術館・国際版画美術館・聖徳学園（利根山ギヤラー）海城学園に所蔵されている。ついで乍ら利根山先生の軌跡は、日本芸術大賞・メキシコ文化大賞・紺綬褒章・国際版画賞・吉田五十八賞など多数。

故岸本氏所有の 利根山先生の作品 海城に寄贈

8月、同期の故岸本和夫氏夫人から電話が鳴った。10年ぶりだ。話はこうだ。「主人が持っている利根山先生の作品を貰ってくださいますか？」その事を利根山夫人に話したら、海城に寄贈することにした。
岸本君は「海城新聞時代、足しげくアルテ・トネヤマにカット挿絵エッセー等を貰いに来ていた。卒業後も顔を出して、名作を購入したらしい。
早速、事務長である古賀喜憲氏を通して理事長に伝えていただき、理事長も大歓迎してくれた。
寄贈作品は2点で、その内1点の名称は「驚」で小品乍らリトグラフで名

永年会費納入者

（敬称略）

昭和53	深田 誠
昭和46	池ノ谷和裕
平成10	河野 整
平成10	篠崎 公昭
昭和34	立石 昌義
平成30	辻本 晴輝
平成30	別府 尚彦
平成01	青木 健治
昭和53	青木 毅
平成01	磯 正裕
昭和61	市川 勝也
平成24	小島 柊
平成08	小町 崇幸
昭和50	小松 照男
平成05	菅原 道孝
平成30	鈴木 天馬
平成29	高橋 諒
平成07	多田 知義
（七・二万円）	
昭和54	田母神 昭
平成30	中田 敬介
平成30	中村 文哉
昭和58	巻嶋 陽一
平成28	松下 裕一
平成30	村田 一真
平成30	米澤 翔
昭和41	天明 忠一
（六万円）	

平成30年4月から平成30年11月まで（受領日順）

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、ご了承ください。

初の企業内海原会 JAXAに誕生

高校卒業30年を機に海原会の盛上げに一役買おうと思い立ち、宇宙航空研究開発機構（JAXA）での海原会を発足しました。きっかけは私（渡辺）の部署に、佐孝さんが配属になり、海城出身であることが分かったことでした。その後、苦づる式に人を集め、6名が6月29日につくば駅そばの店に集まりました。それぞれ、JAXAの研究開発部門、人工衛星部門、ロケット部門、宇宙ステーション部門と各方面で活躍中です。仕事の話はほとんどに、それぞれの年代の海城名物先生の話に花が咲き、諸先生方には申し訳ありませんが、勉強は教わらなかったものの、毎日の生



活は楽しかったと海城生活満喫の話題で同窓の仲間としての連帯感に酔いしれました。写真左から、氏名、卒業年度、組、担任を記載します。佐孝大地 H13卒9組関野先生、渡辺英幸 S63卒7組鈴木先生、伊海田皓史 H13卒5組鴨田先生、笠原希仁 H09卒10組平山先生、桜井誠人 S60卒8組加茂先生、石島義之 H01卒9組小久保先生。S60年からH13年まで17年の世代差がありました。職業柄、全員理科コースでした。まだまだ、JAXA海原会の輪を広げたいのでこの記事を見た海城OBのJAXA職員は渡辺（有人宇宙部門）までご連絡いただけると幸いです。また、皆さんも自社のOB会を結成してみたいかがでしょうか？社内でも新たなつながりができるのも楽しいものです。

（昭和63年卒 渡辺英幸）

昭和27年卒 同期会 二七想友会 集まることに意義がある

数年ぶりで同期会を開いた。残念ながら我々の年は黄泉の国へ行く人が増え続けて来た。例え元気でも体が思うように動かない。年には勝てません。驚いた！年には勝てぬ超高齢者が、何人集まるか心配した。が、欠席者が減っても18人とは立派だ。中には10年ぶりで参加した斉木一博君、箱根の山から来た元医師の中島弘君など。嬉しいじゃないですか。しかし、後日談だが、写真を見たらみんな年寄り顔で、名前と顔が一致しない。現在確認作業中です。齢を取るとこんなことになるでしょう。（笑）

いつもの通り、我々のたまり場は、親友坂

同期会 クラス会 だより



海原三四会 米寿を迎え8人集まる

昭和18年に海城中学に入学し、卒業は学制改革によって昭和22年（旧制中学4年から旧制高等学校、大学予科）昭和23年（旧制中学5年卒業、それぞれの進路）昭和24年（新制高校3年卒業、新制大学）と3

年に渡るといって稀有な体験をした仲間であるから、会の名前も卒業年度不明の「海原二三四会」としている。最盛期には大会場に溢れるほど集まっていたのだが、米寿を迎える今年はどうとうこの8プラス1になった。

この8人は、月に一度の定例会のほかにはたびたび浅草駅から言問橋を渡り向島まで、嬉々として鰻を食いに掛ける物好きたちであるから、当分たばる気配はなさそうである。

そしてこの8人が会えば必ず、先立つた多くの恩師や級友たちの声や姿が、Zaim Schoolと称された時代の旧校舎や勤労動員で馬と過ごした東京競馬場とともに、生き生きと登場してくるのです。写真は前列左から池田多門、平山寧、泊懋、杉浦宏夫妻、後列左から土井謙、梅原力、森昭雄、島方重泰。

（泊懋）



海原三五会

58年ぶりの再会者も

11月7日（水）、馴染みとなった池袋はサンシャイン59階の「星のなる木」で行なった参加者は22名とやや少なかったが、亡くなる人や体調不良の人が多くなる年代なので止むを得ないか。

それでも朗報があった。それは卒業以来初めて参加したという剛の者が4名もいたことである。実に58年ぶりの再会となったが、往時の面影は残っていて、誰であるかスグ分かった。

話題は必然的に彼らを中心としたものとなったが、長い空白は一瞬にして消え、お互いに「高校生のままで大いに盛り上がった。

2年後の総会は卒業60周年の記念すべき

本誠一君所有のフレンドビル9Fを改造して、ご厚意で開催している場所なんです。宴会ではビールで乾杯のあと、それぞれシートのスピーチに入った。雰囲気的には近況報告をしながら「生きていてよかった」を感じつつ話したに違いない。仲間とは思議なんでも、元氣な顔を見れば安心して帰る。要は集まることに意義がある事に気づかされる。

昭和27年卒の我々は、あの忌まわしい戦争被災の生き証人としての責務があることに気づかされる。このことは学校で教えてくれない歴史が起因する。

楽しいひと時を過ごした。帰りに来年もやろうぜと言われた。言い返した。「それよりお前、それまで生きてろよ！お互いに」

【出席者】今井信弘・市村磐根・大野金次郎・河野恒夫・川手利夫・金子五郎・小石英夫・坂本誠一・斉木一博・鮫島弘周・砂田郁郎・高田貞夫・塚田一雄・中嶋弘・中嶋可明・根本 久・藤原忠雄・山本満男（山本満男）

年である。その時はまた元気に会おうじゃないかと固く約束し、最後は高らかに校歌を斉唱して散会となった。

(渡辺育男)



海原36会 昭和36年卒 同期会 健康、愛のある生活忘れずに

「みんな、幸せの反対は何か、知っていますか」——6月2日、母校の教室の一室を借りて行われた36会の総会。齋藤邦雄君が、いつになく改まった口調で、こう切り出した時、参集した36年卒業の28人は一瞬、「ハ



テ？」といった表情でした。「そりゃ、不幸ふしあわせだろう」「それとも不安か?」「金欠もあり得るな」と思いは様々でしたが、齋藤君いわく、「幸せの反対は辛いですよ」。年齢に関係なく愛のない生活は辛い。ただ、「こちらが愛を思っても、しばしば向こうは迷惑がっていることがあり、難しい(齋藤君)。確かにこれは辛いですが、趣味や散歩など何かに情熱を持つことも幸せにつながると、齋藤君は言います。

健康や愛にも関わりますが、36会会長、山田雅康君の体験談です。今年になって、奥様が病気に倒れ入院を余儀なくされた同じ時期、同居している義理の母も足の骨

折で入院。3人暮らしのところ俄かに1人暮らしを強いられた由。「男1人で何もできない。しみじみ妻の有難さ、家族の暖かさを感じました。私たちの年齢になると、いつ病気に襲われるかわからない。日頃の健康、愛のある生活の大切さを片時も忘れずに大事にしましょう」と実感と共に話していました。一方、金澤三則君は病気を抱え体調万全とは言えないながら、毎朝、自宅周辺を10キロほど走り、戻ってからバードゴルフ(ゴルフをミニ化したもの)に励むといっています。これを受けて、金子宣男君が「このところ、知っている人が亡くなったというニュースが多い。我々はせめて米寿まで頑張ろう」と激励の一言。

総会では、齋藤君の骨折りで、今年の秋にも伊東界隈に繰り出すことを決定。感謝。最後に副会長の重武茂任君が「近ごろは変に気を使う人間がいるせいか、いろいろなことが世の中に起きている気がする。誰に気を使うこともない、この集まりを大事にしましょう」と締めくくり、一同、この後に開かれた海原会総会に出席。さらに十数人が四谷あたりに繰り出したのは恒例のことです。

(瀧本 喬)

昭和42年卒 3年2組クラス会 古希を迎え51年ぶりの再会

卒業以来、「古希」を迎えるにあたり、51年ぶり平成30年5月12日に、クラス会を「新宿小田急百貨店13階さかみ」にて開催いたしました。

住所の判明している26人に連絡しましたがすでに4名の方が逝去されており、その中には日大ゴルフ部を卒業後プロゴルファーになった人も含まれておりました。

19名(通知が届き、そのうち、10名の参加者が有り、各自近況報告に至りました。



古希を迎えた参加者のほとんどの者が、現在も企業や地域社会に携わっており、高校時代には想像できないくらい活躍している人もいて驚かされました。

六本木ヒルズ一角のけやき坂テラスで、企業を創業し経営者として活躍している人、NPO法人シニア総合研究所に携わっている人、消費に興味が無く自然を友としている人、市民活動サポートセンター・理事として活躍している人、自分で定年を決めるスーパーマーケットに携わっている人、マンション管理人として地域住民に溶け込んでいる人、借地農園で野菜作りに熱中している人等、いきいき、シニアライフを謳歌している人々が多数を占めました。屋上庭園で記念写真を撮り、次回再会を期して、健康寿命の旗印のもと、散会となりました。

(篠崎 清)

昭和44年卒 3年6組クラス会 安田講堂事件から50年

10月20日(土)に「昭和44年卒3年6組」のクラス会が開催されました。一昨年から始めて今年で3回目となり、12名の参加を得ました。皆さんお元気で、毎週テニスとゴルフをプレイする方、ご夫婦で世界中を旅している方、「潮の道トレイル1,000キロ」に挑戦している方、富士山頂に昇って来た方、もいれば、野菜のベンチャー産業に挑む方、まだ現役で会社でバリバリ働いている方、地元の区役所関係に再就職した方等、68歳になり益々活躍しております。今年に加藤・浦江・一柳君の3人が幹事を引き受けて、楽しい会を開催してくれました。来年は榎本・島尻・山中君のスポーツ万能の3人が幹事を引き受けてくれましたので、また楽しいクラス会になると期待しております。

昭和44年卒は大学受験直前にあの「東大安田講堂事件」があり、前代未聞の東大



入試中止となり、大学入試全体がざわついていた記憶がありますが、早いもので来年は卒業50年目を迎えますので、さらに多くの方に参加を呼びかけたいと思っております。

(山口 清)

昭和53年卒 6年4組クラス会 卒業40周年 学校見学

昭和53年卒業、6年4組(担任…新野先生)クラス会が7月14日(土)に行われました。

今回は卒業40周年ということもあり、イベントとして大きく変貌を遂げた学校見学が行われました。午後3時に有志9名が学校に集合し、塩田先生、海原会・国井様に学校をご案内いただきました。教室に完備された電子黒板や、一部学年ではタブレットを使った授業が行われていることなどをお聞きし、8階建ての2号館、人工芝のグラ



ドなど参加者一同、時の流れを痛切に感じると共に、どこか場所でも生徒たちが明るく礼儀正しい挨拶をするなど、とても40年前の先輩悪童からは想像できないくらいに品格「新しい紳士の育成」を感じた次第でした。その一方で、6年時に使った懐かしい4号館の教室で各目席についての記念撮影、当時と変わらぬ校門横のクスノキの大本など、瞬時に40年前に戻ったような錯覚も持ち、一同当時の思い出に浸る貴重な体験ができました。

我々のクラスは15年ほど前から2年に1回、海城卒業生らしく「海の日」の連休中にクラス会を開催しています。名誉幹事の梶原裕君の努力もあり、来年度も迎ええすぐがクラスのほとんどのメンバーが発見・捕捉されています。今回も場所を、高田馬場に移し京都や静岡からの参加者も含め20名が集まり、旧交を温めました。淵沢君、梶浦君の初参加もあり、また唯根君のハッピーなニュースなど、大いに盛り上がった夜を過ごすことができました。次回幹事を井口君、松田君に託すこととなりました。今後とも定年退職などで各人の環境も大きく変わっていくこともあるかと思いますが、一人でも多くのメンバーが集まる盛大なクラス会が開催できればと考えております。

(青木 毅)

昭和58年卒 8組クラス会 初参加者も増え広がる

昭和58年3月卒業の8組(担任…黒木先生)のクラス会を1月13日(土)に開催しました。場所は新大久保駅前の鍛冶屋文蔵で19時スタート。

今年も数十年ぶりに会うメンバーが参加して、クラス会の輪が徐々に広がっています。お互いの近況を確認し、今回もあつという



間でしたが楽しいひとときを過ごしました。今回は2019年1月19日(土)です。

【参加者】会田、大島、奥村、尾又、木綱、根本、花田、堀、堀内、深沢、村松の11名

(奥村周永)

平成30年卒 6年10組の会 第一線で活躍の面々

平成30年4月26日(木)に、平成30年卒の3年10組理系・鈴木元明クラス中心のプチ同窓会を井上政則君の音頭で新宿西口・炉ばた銀政にて開催しました。医師、会社経営者、公務員、SE等皆、第一線で頑張っている事にお互いこれからの励みになりました。今回は秋頃、仲間をさらに増やして井上政則君の豪邸にてバーベキュー大会を予定しています。

【写真】(左奥から)前田真悟、後藤隆志、菊池秀樹、権代英則(右奥から)市ヶ谷透、井上政則、森上大、福田年健

(菊池秀樹)



地域海原会

湘南海原会 第44回目の例会

平成30年5月25日、J.R茅ヶ崎駅ビルの「快飛び」で第44回湘南海原会例会を開催しました。6名の参加で昭和19年海城中学卒業の大先輩から昭和37年海城高校卒業の幅広い地域同窓会は地元湘南海原の名産海の幸「生シラス」から始まる海鮮料理に舌鼓を打ちながら、世代を超えた話題に2時間はほんの僅かの時間に感じられました。当日体調不良で参加出来ない先輩の方々は出欠のハガキの返事以外に幹事宛電話を頂き近況を伺うことが出来ました。皆様方大変元気なお声でとても90歳を超えているとは思えない様子でした。今回は何とか参加されたというお声に大変勇気づけられました。湘南海原会は世

代を超えた海城中学、高校の地域同窓会です。いわゆる湘南地方に限らず、近郷近在のOBの方々のご参加をお待ち致します。

(昭和37年卒 佐藤誠二)



海中酔米会

四谷3丁目月一例会

新宿区あたりに住んでいて中学受験をする小学生は、早実か海城を目指す場合が多かったのだという。その名残だろうか、四谷から神楽坂にかけては今も昭和卒の海城OBが多く住んでいて、卒年はバラバラでも、近所感覚での交流があるのだという。

そんな社交場の一つが海中酔米会。読んで字のごとく、海城OBが酒場で交流する会だ。月に1回程度、四谷三丁目にある「よつやくてい」にふらりと集まり、例会を開いている。

例会とはいえ、会費などというものはなく、それぞれが自分の分を支払う。勝手に



来てはおしゃべりをして勝手に帰っていくという気楽なスタイル。

とりあえず「よつやくてい」に行き、海城OBであることを告げてみてほしい。例会とは関係なく他のOBがいる場合も多いし、お店の人に聞けば、OBの動向や次回の例会の日を覚えてもらえることだろう。

なお、海城中学出身者が多いので海中となつているが、海城高校から入学した方でも大歓迎だそう。

【写真】面川さんと那須さん（いずれも昭和49年卒）
（広報委員会）

分科会報告

【海志会】総会開催！

去る4月16日（月）、現職の政治家や公務員等から構成される海志会の総会が、霞が関のCafe & Dining hallo 虎ノ門店（パロバ）1階において19時から開催されました。久しぶりの開催となった今回の総会には、20名以上の会員が参加しました。一口に「政治家」や「公務員」と言ってもその職種は様々です。国会議員もいれば地方議員もいますし、霞が関勤務の国家公務員も



いれば、地方公務員もいるなど、バラエティに富んでいます。また、今回の総会には、財務省の女性職員や、宮沢会長の大学時代の同級生の下で働いている女医さん、それに霞が関の省庁担当の記者が参加、異業種交流会の様相も呈した会となりました。

今回の総会では、宮沢会長がデザインを手がけた海志会オリジナルネクタイが配付されました。配付された男性陣はさっそく着用、全員が同じネクタイをつけて集合写真に納まりました。

（平成11年卒 齊藤亮輔）

海外OB会だより

ASEAN 海原会

初代会長に武者さん（S60年卒）就任

東南アジア各国で活躍する海城OBは年



に数回「ASEAN総会」と銘打ち集まっている。11月2日、バンコク・ジャカルタ・プノンペンの海城OBで半年ぶりのASEAN総会がバンコクの「まろ」にて行われた。

会の冒頭（要は酔っぱらう前）ASEAN諸都市に散らばる海原会を取りまとめるASEAN海原会には会長が必要であるという動議がバンコク海原会会長宮本裕一郎さん（H7）から出され、出席者で討議の結果、武者良祐さん（S60）が初代ASEAN海原会会長に就任することが決定された。

その後は思ひ出話や最近の活躍の話に花が咲いた。卒年は30年ぐらいい違っても生物の長島先生・柔道の斉田先生・剣道の内堀先生といった名物先生の名を出せば一気に距離が縮まる。リアルな共有経験を持っているのが高校の同窓会の凄みであろう。

最後は校歌斉唱。酔っ払って調子っぱず

れで、店のお姉さんは苦笑していたが、実に楽しい様子の動画が撮れた。

今回は1月8日・9日。昼はゴルフコンペで夜は飲み会を予定している。参加希望の方は海原会HP経由でご連絡ください。

【参加者】（敬称略）。毎熊宏則（S53）・須坂正史（S59）・武者良祐（S60）・国井信男（S62）・小市琢磨（H05）・鈴木和明（H05）・服部康治（H05）・小原英志（H06）・木村真（H07）・宮本裕一郎（H07）・鈴木新（H13）・西垣亮太郎（H13）
（昭和62年卒 国井信男）

カンボジア

小市さん（H5年卒）が日本人会会長に

2018年5月、プノンペンの日本人会会長に小市琢磨さん（H05）が就任しました。小市さんは今から20年以上前の大学時代に、まだポルポト時代の影響が残るカンボジアで起業し、現在は現地での貿易・物流・マスコミ・旅行・コンサルタントなどをおこなう企業グループを経営しています。現在カンボジアの在留邦人は3500人ほど。一昨年には成田からの直行便も飛ぶようになり、経済発展著しいこの国をビジネス目的で訪れる日本人が増えています。小市さんは今後諸都市にある日本人会をまとめて、カンボジア全体の日本人会とするべく奮闘中。在留邦人の草分けとして、益々の活躍を期待されています。（国井信男）



元ジャカルタ海原会 帰任者の会

5月19日（土）、ジャカルタ駐在から帰任した海原会メンバー5人が中心に東京で集まり第一回ジャカルタ帰任者の会を開きました。駐在時の懐かしさで面白いエピソードが満載で、本音が経つのを忘れて楽しみました。岐阜、名古屋、東京と勤務地は様々ですが、これからも定期的に会合を開催し旧交を温めると共に、ジャカルタ海原会の発展にも貢献したいと思っています。そして6月16日には、現ジャカルタ海原会の志部長である齋藤さん（H3卒）の一時帰国に合わせ、高田馬場のel Gingoにて元インドネシア駐在者が集いました。ここでもまたインドネシアの懐かしい思い出に始まり、帰国して改めて気が付く日本食の奥深さや学生時代のバイトの話等々、時間の過ぎるのも忘れて楽しめました。海原会関係者でしたら、インドネシアに関係なくても参加OKです。ご興味のある海城関係者ならどなたでも参加可能ですので、服部までご連絡ください。

【写真】6月の集い。左手前より時計回りに、齋藤夫妻、国井S62、服部H5、土橋H5、近藤S52（平成5年卒 服部康治）



124代卒者の「成人を祝う会」

1月13日(日)海城学園講堂にて開催します。

開場13:30～ 開始14:00～

式典のあと、カフェテリアにて懇親会があります。

ライン等で連絡が回ってなくて、参加希望の方は

以下までご連絡ください。

連絡先 kaijoseijinshiki2019@gmail.com

鉄研OB会新年会

今年も鉄研OB会では新年会を行います。

皆さんのご参加お待ちしております。

【日時】平成31年1月12日(土)18:00～

【場所】いさみ (新宿区歌舞伎町1-23-10)

【会費】7000円

参加をご希望の方は

info_kaijotekkenob@googlegroups.comまでご連絡ください。

北総海原会・新年会のご案内

会員の皆様お元気ですか。恒例の新年会を開催したいと思います。

現在、場所を検討中です。決まりましたら後日改めて、

案内状をお送り致します。ご参加ください。

千葉・北総地域にお住まいで、新規参加希望の方も待っています。

ご一報いただければ幸いです。

連絡先 090-1408-1226 杉山迄

【士業・医業・海志・メディア】 合同新年会のご案内

【日時】1月19日(土)18:00開宴

【場所】海城学園カフェテリア

【費用】4000円

【べ切】1月11日(金)

既に会員の方以外にも、上記業界に関係する方は参加が可能です。
参加希望の方は当HPの「海原会へのご連絡・お問い合わせ」より
お問い合わせください。

海原会グッズ販売 終了のお知らせ

同窓会の定番グッズとして親しまれてきました
「海原会グッズ」(キャップ、Tシャツ、ポロシャツ、
パーカー)の製造販売をこの度終了すること
になりました。皆さまには長らくご愛顧いただ
きありがとうございました。



【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートから会報のバックナンバーの閲覧ができます。

閲覧にはパスワードを設定しております。ユーザー名はkaihouです。

パスワードは2018年12月14日までは「bye:6ttE」2018年12月15日から
は「21.U.100」になります。



細亜大学へ進学
されている。重
んは高1のとき
にお父様をなく
されている。重

テレビなら「ビー」
でかき消されて
しまう話が多く、
残念ながら割愛
する。

白河そば(しらかわそば)

実は、面川さ

んは高1のとき

営業時間 7:00～14:00 ※売切じまい

定休 日曜・祝日

(国井信男 記)

他にも愉快な話がたくさんあるのだが、
してお互い仰天したこともあったのだとか。
を食べているときに河原先生と鉢合わせを
して、お互い仰天したこともあったのだとか。



きざみそばをいただいた。
井から上がる湯気がふうわ
りと顔をなでる。立ちのぼ
る出汁の香りはカツオに昆
布、あとは何だろうか。柔
らかい出汁のうま味が油揚
げにしみて、そばにからむ。
そんな逸品であっても立
ち食いであるから数分で掻
き込んでしまう。もったいな
い話だが、そばの原点に立ち戻った粋だと
も思う。

★特典★

初回に限り、平成30年12月1日～平成
31年1月31日までの来店時に「会報見
たよ」の合言葉で生卵1つプレゼント。

白河そば 立ち食いソバ名店

海原会クルメ ⑪ 牛込柳町

牛込柳町駅にある「白河そば」。立ち食
いソバの名店として各誌で紹介されるこの店
の主人もまた海城OBであった。

主人の名は面川博直さん(昭49卒)。その
名を聞けば、同世代の海城OBの多くが「あ
ゝ」と言う。在学中はそれほどの有名人で
あったらしい。

海城時代は剣道部。顧問は達人と呼ば
れた西山先生。そのついでに国士館大学の監
督がやってきて指導をし
たこともあったという。

もちろんまじめに剣
道に打ち込んでいたのだ
が、朝稽古が終わると、
当時、住み込みで働いて
いた用務員さんの家族
のところで風呂に入れて
もらったり、場合によつ
ては朝ご飯を食べたり。
当時の用務員室は古参
の先生の隠れた茶飲み
場だったらしく、朝ご飯
を食べているときに河原先生と鉢合わせを
して、お互い仰天したこともあったのだとか。

後、応援団と
して活躍す
るかたわらで、
家族を支える
ため20才の時
に創業したの
が白河そばだ。
白河の名はこ
両親の出身地
から取ったの
だという。以
来40年以上が経った。

白河そばのつゆは黄金色に澄んでいる。

「ウチのつゆには醤油を使っていないんだよ。
全部塩と出汁の味。醤油入れちゃうと温
めているうちに煮詰まって味
が変わっちゃうからダメな
んだ」と面川さん。



編集後記

◎「平成最後」という言葉が
躍るようになった。考えてみ
ると、会報も本号で平成最後
だ。ビックリ！ (国井)

◎総会の懇親会、前にいたOB
「君あががはずれてる」。数
日前から痛かった。「ちよと
診せて」と背中を周り、指で押
さえて治してくださりました。
今号海城人。 (高橋)

◎どうも勝手が違う。面白
く書いたつもりが面白くない。
書き言葉はときによつては難
しい。いつもそう思っている。
反省しきり。よいお年を。 (山本)

◎来年の十連休で会報編集
のスケジュールを変えなけれ
ば。今号で頭がいつぱいの
小生。先を見据えた編集委
員の皆様に脱帽。いつにな
く皆様のようにならなうか。
しめるようになるのだろうか。 (森山)

◎「平成最後」の海原会総
会ではつたないながらも司会
を仰せつかり大変光栄でした。
新元号最初の総会にも皆様
ぜひお越しください。 (岡本)
◎スポーツ界での十代・二十代
の活躍が目立つが考えてみれ
ば「最優秀大使」になった山
田くんも高校2年。同じ世
代のなだ。時代は確実に流れ
ている。海原会の100周年
に生命の動的平衡を思う。 (小西)

編集担当

山本満男 (S27)
片山忠美 (S28)
森山昭洋 (S41)
小西洋也 (S41)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)
高橋有仁 (H05)

※海原会は皆様の会費で運営されております。